

### 3 個人結果票について

平成30年度埼玉県学力・学習状況調査

事務連絡（7月3日付け）再掲

担任用

## 個人結果票の活用について



県教育委員会では、県内公立小・中学校の小学校4年生から中学校3年生までの児童生徒一人一人の学力の経年変化（学力の伸び）を把握するために、平成27年度から県学力・学習状況調査を行っています。

「個人結果票」は、児童生徒一人一人の調査結果を、児童生徒や保護者、先生方にお知らせするものです。

児童生徒には、学力の伸びを実感し自信を深めることで、学習意欲がさらに高まるよう、個人結果票の返却時にお声がけください。

保護者の方には、児童生徒の伸びやつまずきを具体的に伝え、家庭学習が充実するようお伝えください。

先生方におかれましては、児童生徒一人一人のつまずきを早期に発見し、その解消を図ることができるよう御活用ください。

#### 1 結果票の返却について

返却前

- 個人結果票に、各学校で保管している個人番号シール票をもとに、組、出席番号、名前を記入する。

※ この作業を間違えると、児童生徒に誤った結果が返却されることとなります。間違いがないか十分に確認してください。

児童生徒には

- 本調査の特徴を伝えます。
  - ・ 1年間の「学力の伸び」が分かる調査であること（小5から）
  - ・ 現在の学力のレベルが分かる調査であること
  - ・ レベルが上がるほど難しい問題を解く力があるということ
- 一人一人の1年間のがんばりや伸びを認めたり、ほめたりするなどの言葉がけをします。
- 夏休み以降の学習計画のアドバイスをします。

返却時

保護者には

- 可能な限り時間をかけて、お子さんのよさや課題を伝えます。
- 伸びたところをほめるとともに、苦手領域を中心に家庭学習を行うよう伝えます。
- 家庭学習には、県のホームページから本調査の「復習シート」をダウンロードして活用できることを伝えます。

埼玉県学力・学習状況調査 復習シート

検索

※ 御家庭への返却につきましては、各学校の実情に応じて、7月中旬以降9月中を目途にお願いします。この結果を今後の学習に生かせるよう、できる限り早く返却いただけるよう御協力をお願いします。



**(3) 今までの学力の変化** について【個人結果票P 2, 3参照】

「児童生徒の学力の変化」について、次のような形でコメントを記載しています。

**あなたの学力は、「レベル11」まで伸びました。**

コメントは、次の①～⑧のパターンがあります。

	児童生徒の学力の変化の状況	表示されるコメント
①	・学力が伸びて、レベルが上がった場合	あなたの学力は、「レベル〇」まで伸びました。
②	・同じレベル内で、伸びがあった場合	あなたの学力は、「レベル〇」の中で伸びがありました。
③	・学力の位置が前年度と同じだった場合 ・学力の位置が前年度より下がった場合 (スモールステップでレベルが1つ下がった場合を含む)	あなたは、「レベル〇」の学力があります。 (〇はH30の児童生徒の学力レベルの数字)
④	・2つ以上レベルが下がった場合 ・正答数が0問であった場合 (学力のレベルの <span style="background-color: red; color: black;">      </span> は表示されません)	学校の先生等と、学習などについて相談をしてみましょう。
⑤	・全ての調査問題に正答した場合	あなたの学力は、レベル〇以上になりました。 (〇は当該学年での最高レベルの数字)
⑥	・本年度の調査は実施したが、昨年度の調査を未実施の場合	あなたは、「レベル〇」の学力があります。 (〇はH30の児童生徒の学力レベルの数字)
⑦	・本年度調査の一部教科を未実施の場合 (昨年度実施・未実施の場合とも)	未実施教科：本年度の調査を受けていないため、今回の学力のレベルは表示できません。 (実施教科については①～⑥の状況に応じたコメントが表示されます。)
⑧	・本年度の調査を全教科未実施の場合 (個人結果票の返却はありません)	—

**※個人結果票を返却する際にお願したいこと**

**【①②⑤の場合】(「学力の伸び」が見られた場合)**

- ・本調査のねらいを実現できるよう、学力の伸びた教科について、**児童生徒一人一人の1年間のがんばりを認めたり、ほめたりする**ことで、児童生徒が自分をさらに伸ばし、自分のよさを生かしていけるような言葉かけをしてください。
- ・その際、「教科の領域等別正答率」や「県全体の正答率分布」なども参考にしながら、よさを具体的にほめるよう心がけてください。

**【③④の場合】(学力の位置が前年度と同じ、または前年度より下がった場合)**

- ・伸びている他の教科や、「教科の領域等別正答率」「県全体の正答率分布」を参考に、よい部分をほめることを中心に言葉かけをしてください。
- ・学力が前年度と同じか下がっている児童生徒については、「授業への取組」「学習習慣」「生活習慣」などにつまずきや悩みがある可能性があります。
- ・個々の学習方法や生活上の悩みの聞き取り、**教育相談などを行うことで**、児童生徒の状況を把握し、助言し、その後の取組等を見届けるなど十分な支援をしてください。

**【⑥の場合】(昨年度未実施の場合)**

- ・「教科の領域等別正答率」「県全体の正答率分布」を参考に、よい部分をほめることを中心に言葉かけをしてください。

**【⑦の場合】(今年度一部未実施の場合)** 実施した教科については、①～⑥に準じてください。

**【⑧の場合】(今年度全教科未実施の場合)**

- ・調査結果票はありませんが、日常の授業等ががんばっているところ等、ほめることを中心に言葉かけをしてください。

#### (4) **学習に関するアドバイス** について【個人結果票P 2, 3参照】

アドバイスは3段構成になっています。

例)「同じレベル内で、伸びがあった場合」のコメント

あなたの数学の学力は、昨年度1年間の学習により、着実に伸びています。自分の努力に自信を持ち、今後も学習に取り組んでいきましょう。授業への取り組み方や学習習慣を見直し、改善することで、さらに大きく伸びることが期待できます。

図形は、大変よくできました。図形の学習は、平行線の性質など今まで学習した性質を使い、いろいろな視点から考えることが大切です。3年生では相似な図形の学習があるので、図の中に含まれるいくつかの性質を関連させて考えを深めましょう。

また、関数の学習は、式から交点を求めたり、式をグラフに表したりする問題ができるようになることが大切です。3年生では放物線の学習があるので、分かっていることを、式・表・グラフと関連させ、ていねいに取り組みましょう。

今回のあなたの学力レベルを参考に、県ホームページの「復習シート」を活用して、さらに自分の力を高めていきましょう。

学力調査の結果  
・学習習慣 等

今後の学習への  
アドバイス  
(領域等別)

復習シートの活用

- ・ 上段では、児童生徒の学力の状況について説明し、「学力の伸び」を認めるコメント、授業や学習習慣などへのアドバイスを記載しています。
- ・ 中段では、領域等別に、今後どのような学習がさらに効果的であるかを記載しています。
- ・ 下段では、復習シートの活用を促しています。

「**学力レベルが前年度と同じだった場合**」「**学力レベルが前年度より下がった場合**」については、「必要に応じて、学校の先生やご家族の方と相談してみるのもよいでしょう。」などのコメントを記載しています。児童生徒の現状や要望に応じて**面談などを行い**、つまずきや課題を共有しつつ、よいところを認め、子供たちが自分をさらに伸ばし、自分のよさを生かしていけるよう働きかけましょう。

#### (5) **教科の領域等別正答率** 及び **県全体の正答率分布** について

【個人結果票P 2, 3参照】

- ・ 「教科の領域等別正答率」には、領域ごとの正答数、設問数、正答率を県全体の平均も併せて記載しています。レーダーチャートの実線(—)は児童生徒の正答率、網掛け(■)になっている部分は、県全体の平均正答率となっています。学力の変化の状況以外に、児童生徒のよさを認める際の参考としてください。
- ・ 「県全体の正答率分布」は、人数を横軸とした県全体の分布を棒グラフで示しています。当該の児童生徒が含まれる集団を表す棒グラフの色を■として、県全体におけるおおよその位置が分かるようになっています。ただし、**本調査の目的は、児童生徒一人一人の「学力の伸び」や変化を把握してよさを伸ばしていくことにあります**ので、県全体の中での位置に重きを置いた働きかけや指導は控え、あくまで**参考として御活用ください**。

#### (6) 「質問紙調査の結果～規律ある態度の達成目標～」について【個人結果票P 4参照】

- ・ 規律ある態度の達成目標について、児童生徒の回答状況を示しています。

#### (7) 自由記述欄の活用について(例)【個人結果票P 4参照】

- ・ 夏季休業中の学習計画や取組などについて児童生徒が記入し、夏季休業明けに提出させる。
- ・ 保護者にがんばりを認めたり、励ましたりするコメントを記入してもらう。
- ・ 返却に十分な時間が取れない場合に、担任があらかじめがんばりなどを認めるコメントを記載しておく。